

## 第3回久慈地区新設高等学校統合検討会議 議事録

期日 令和5年12月25日(月)  
時間 午後2時00分～午後3時00分  
会場 岩手県立久慈東高等学校 視聴覚室

### 1 開会(久慈東高等学校副校長 三浦幸哉)

### 2 久慈地区新設高等学校統合検討会議座長挨拶(佐々木座長)

検討会議構成員の皆様、本日は年末の忙しいところ本会議に御出席いただき、感謝申し上げます。6月から開催された本会議も本日で第3回となった。これまで熱心な御協議の上、明確な方向性を示し、提案を御承認いただき、統合に向けて着実に準備を進められている。本日の会議は、8月に県教育委員会に提出した4つの校名案に対する県教育委員会の方針の報告がある。また、校訓案、学校教育目標案、スクール・ポリシー案、校歌案、校舎名案、制服案、部活動案等について御協議いただく。本会議においても、引き続き、構成員の皆様から多くの御意見等を伺いたい。久慈地区新設高等学校が久慈地域における地域社会・地域産業を担う人材を育成するとともに、生徒の学びの充実を図る学校となるよう、本日もよろしく願います。

### 3 報告

#### (1) 久慈地区新設高等学校校名(案)について(学校教育室特命参事兼高校改革課長 安齊和男)

県教育委員会において決定した、久慈地区新設高等学校の校名案について御報告する。資料の2ページは、前回、第2回統合検討会議の協議を踏まえ、事務局で作成し、県教育委員会宛てに提出のあった報告資料である。資料には、4つの校名案とその理由、また、参考として前回の会議において、構成員の皆様から御発言があった主な意見についても付記の上、4つの案の中での順位は付けずに報告をいただいた。県教育委員会における教育委員との協議において、この資料の内容すべてを提示した上で、統合検討会議におけるこれまでの審議の経過等の説明も加え協議をいただいた。1日では結論に至らず、2回に分けて協議が行われた。協議の過程においては、教育委員から、さまざまな意見が出されたところであるが、最終的には意見が集約され、久慈地区新設高等学校の校名案については、4つの校名案候補中、岩手県立久慈翔北(くじしょうほく)高等学校とすることに決定した。決定した理由については、明るい未来に向かって飛翔するという願いと、学校が沿岸北部の中心となって発展してほしいといった期待を込められている。翔北に地域の名称である久慈を加えることで、親しみやすく明るいイメージが持てる呼びやすい校名であり、両校の学びと伝統が引き継がれることを前提としつつ、将来の学びの内容にも対応できる。以上の理由から、岩手県立久慈翔北(くじしょうほく)高等学校を校名案とすることに決定した。校名の検討については、皆様から統合新設校への思いを込めた議論いただいたことに改めて感謝を申し上げます。引き続き、統合新設校の在り方について御協議いただくこととなるが、より良い教育環境の構築に向け、御協力をお願いする。

#### ・校章案作成の進め方について(久慈東高等学校副校長 三浦幸哉)

校章案作成の進め方について確認する。第2回統合検討会議でお示ししたとおり、校名案決定後に、生徒、保護者、教職員を対象に、校章デザインを募集することとしていた。今後、デザイ

ン案の募集を進めていく。

(2) 統合課題検討チーム会議及び教育内容検討チーム会議について

統合課題検討チーム会議は4回、教育内容検討チーム会議は2回開催している。内容等については資料3ページのとおり報告する。

#### 4 協議（議長 佐々木座長）

(1) 協議事項1 校訓案について

- ・（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）資料4ページを読み上げて提案。
- ・（佐々木座長）ただいまの提案について、質問・意見等はあるか。
- ・（後構成員）創造や進取など、時代の変化が激しい中であって、新しいものを積極的に取り入れていくことも大事である。順位性はないと思うが、あえて協調 創造 進取とした意図はあるか。

〈回答〉（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）久慈工業高校と久慈東高校が統合するにあたり、両校の校舎を活用することになる。校舎間の距離は離れているが、一つの学校であり、互いに協力し、協調しながら、学校を生徒、職員、保護者、地域の皆様で作っていくことが重要であるという思いで最初に協調と付けた。

- ・提案のとおり承認。

(2) 協議事項2 学校教育目標案について

- ・（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）資料5ページを読み上げて提案。
- ・（佐々木座長）ただいまの提案について、質問・意見等はあるか。
- ・提案のとおり承認。

(3) 協議事項3 スクール・ポリシー案について

- ・（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）資料6ページから11ページを説明して提案。参考資料として、別冊資料2ページから11ページにある両校のスクール・ポリシーを紹介。
- ・（佐々木座長）ただいまの提案について、質問・意見等はあるか。
- ・（久保構成員）久慈市と野田村で校舎制の学校となり、学校教育目標には地域の発展とある。久慈東高校の「総合的な探究の時間」の取組の様子を見ると、楽しそうにやっている生徒が多い。探究活動は考える力を身に付ける意味でも大切であるので、高校3年間で学習させたい。総合学科の1年次、工業科の生徒は系列に所属しないが、「総合的な探究の時間」を履修する学年、年次なども踏まえた上で検討した案であるかお聞きしたい。

〈回答〉（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）現在の久慈東高校1年次と久慈工業高校の教育課程は、「総合的な探究の時間」を設定していないが、「課題研究」等の科目で代替している。科目の違いをどのように工夫していくかは、これからの教育課程編成の中で細かいところを詰めていかなければならない。両校の様々な交流の中の一つとして、探究活動は大事であり、貴重な御意見としていただく。

- ・（佐々木座長）探究活動は普通の教科の中にもあり、全体を通してスクール・ポリシーの中にも含まれていると考えている。具体的なことについては、教育課程を編成しながら作っていく。
- ・提案のとおり承認。

(4) 協議事項4 校歌案について

- ・(久慈東高等学校副校長 三浦幸哉) 資料12ページを読み上げて提案。
- ・(佐々木座長) ただいまの提案について、質問・意見等はあるか。
- ・(澤口構成員) 久慈東高校の10周年の記念式典の際に、卒業生や在校生に対して、久慈東高校の校歌の作成者が講演とミニライブを行った。数年すれば校歌の意味等を生徒は分からなくなると思われるが、地域にゆかりのある方に依頼するのであれば、作成者から定期的にお話を聞く機会を設けやすくなる。

〈回答〉(久慈東高等学校副校長 三浦幸哉) 貴重な御意見としていただき。生徒への説明の機会を作って還元したい。

- ・(久保構成員) 今後のスケジュールに1月に作成を依頼するとあるが、すでに候補者がいるのか。

〈回答〉(久慈東高等学校副校長 三浦幸哉) 今回提案した内容は、資料上段の枠内のおりである。事務局では現在、検討を進めているところである。検討中の候補者と交渉しながら進めていく。

- ・(佐々木座長) 補足させていただく。この会議で正式に承認いただいた後、検討中の候補者に依頼する予定である。
- ・提案のとおり承認。

(5) 協議事項5 校舎名案について

- ・(久慈東高等学校副校長 三浦幸哉) 資料13ページを読み上げて提案。
- ・(佐々木座長) ただいまの提案について、質問・意見等はあるか。
- ・(菊地構成員) 久慈工業高校は野田にあるので野田校舎と地名をつけていただきたいとお願いしていたところであり、本当にありがたい。今後も地元の高校としてできる限りの応援をしたい。

- ・(澤口構成員) 久慈工業高校の校舎を「野田校舎」とするのに対し、久慈東高校の校舎を「久慈校舎」ではなく「門前校舎」とするのはどのような理由か。

〈回答〉(久慈東高校副校長 三浦幸哉) 久慈東高校に統合した3つの学校の校舎名を、久慈農林高校は門前校舎、久慈商業高校は小久慈校舎、久慈水産高校は長内校舎と呼んでいた。現在も県が所有する校舎があり、その校舎名を使っている。その例にならって久慈東高校の校舎は門前校舎とした。

- ・(佐々木座長) 補足でさせていただく。統合新設校に「久慈」とついた校名を提案しており、久慈東高校と久慈工業高校の校名に「久慈」とついていることも踏まえたものと思われる。
- ・提案のとおり承認。

(6) 協議事項6 制服案の選定について

- ・(久慈東高等学校副校長 三浦幸哉) 資料14ページを読み上げて提案。参考資料として、別冊資料1ページにある制服アンケート結果を紹介。第2回統合検討会議で示したとおり、ジェンダーレスや安価なもの等の観点を踏まえて今後進めていく。

- ・（佐々木座長）ただいまの提案について、質問・意見等はあるか。
- ・（久保構成員）先日、他校の男女の高校生がジェンダーレス等を考慮した制服を披露しているのを見た。4月に制服が決定した場合、その段階で生徒が着て披露するのか、それともイメージだけができて、その後6、7月頃に正式案を出すのか、発表の仕方等を教えてほしい。  
 〈回答〉（久慈東高校副校長 三浦幸哉）3月に業者が決定し、詳細を詰めていく。4月の段階では、サンプルを提示し、生徒が着た形式の発表はしない予定である。発表の仕方等は業者と相談して決定する。
- ・（学校教育室特命参事兼高校改革課長 安齊和男）北桜高校の事例ということで、お話があったものと捉えた。北桜高校は令和6年4月の開校であり、検討期間も久慈地区よりも短い期間であったという事情がある。そのため、令和6年4月から北桜高校の1年生は新しい制服を着ることになるが、令和5年10月の公表となった。
- ・（佐々木座長）遅れないように、詳細は今後進めていく。
- ・提案のとおり承認。

#### （7）協議事項7 部活動案について

- ・（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）資料15ページから16ページを説明し提案。
- ・（佐々木座長）ただいまの提案について、質問・意見等はあるか。
- ・（菊地構成員）各学校の部活動顧問も入った協議で決まったことか。  
 〈回答〉（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）各校で部顧問会議を行い意見集約し、その後生徒指導課を中心としたプロジェクトチーム会議、教育内容検討チーム会議を経て調整を行い案とした。
- ・（後構成員）活動場所について、様々な制約の中で環境設備を有効に活用するためにはどうすればいいか検討して活動場所を提案したと思うが、久慈工業高校の体育館で男子バスケットボール部と男子バレーボール部だけが活動する予定になっている。それが特に問題だと思わないが、岩手は比較的早く男女共学が進み、最近ほとんどの県で男女共学になってきている。このことを考えると、同じ競技に取り組む男子生徒と女子生徒が、同じ場所で活動する場面があったほうが、同じ競技を愛するものとして、お互いに学びあうことがより可能ではないかと考えるが、その件について協議はあったか。  
 〈回答〉（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）限られた場所をどのように割り当てるか調整した。今回は、活動場所の問題の他に、校舎間の移動があり、移動する人数をできるだけ少ない方法を検討した。久慈工業高校は男子生徒が多いので、できるだけ久慈工業高校の男子生徒が久慈東高校へ移動しない方法の割り当てをしたため、男子の部が久慈工業高校に多く集まっている。
- ・（久保構成員）グラウンドの広さは久慈工業高校の方が広いので、久慈工業高校で活動していたラグビー部が現在休部中であれば、広いグラウンドが必要な硬式野球部、ソフトボール部、男子サッカー部は久慈工業高校のグラウンドを使い、久慈東高校のグラウンドを、陸上競技部が使うこととしてはどうか。ただし、久慈工業高校でも陸上競技部が活動してほしい。移動経費や生徒の負担を考えると、提案のとおりでよいと思うが、久慈工業高校の広いグラウンドをうまく活用できるようにもう一度協議をしていただきたい。  
 〈回答〉（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）今回提案したのは、今年度当初の状況を踏

まえた令和7年度の案である。今年度、来年度の部の状況を踏まえて、部によっては廃部を検討しなければならない可能性があり、活動場所についても、調整が必要だと思われる。大枠としては提案のとおりでお願いしたい。

- ・（佐々木座長）今回承認いただくのは、提案のとおり、両校の環境設備を有効に活用する、バスの乗車定員と部員数等を考慮しながら進めるということ。今後も、活動の状況、顧問の状況、部員数の状況等に応じて、総合的に見直しながら進めていく。様々な要因を調整し、構成員の御意見を受け止め検討を続ける。

- ・（菊地構成員）参考までに、両校のバス所有台数と乗車定員を教えてください。そうすると活動場所の方向性も見えてくるのではないか。

〈回答〉（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）久慈東高校では、実習移動用バスは2台所有しているが、両校とも部活動移動用バスは所有していない。

- ・（学校教育室特命参事兼高校改革課長 安齊和男）県内の校舎制の高校で、部活動のバス移動を実施しているのは宮古商工高校、検討を進めているのは北桜高校である。宮古商工高校はバスを借り上げて会計年度任用職員が運転している。北桜高校でも同様のかたちで検討を進めている。効率的に施設を活用する観点から、実習移動用バスの活用やレンタル車輛なども検討し、部活動の移動の手段を確保していく。具体的には、活動場所等を含め情報を精査しながら、必要なバスの台数等の検討を進めていく。

- ・（佐々木座長）前例の高校を参考にしながら、負担のない部活動ができるように、予算も含めて検討していく。

- ・（久保構成員）部活動をするにあたっての最低部員数は決まっているか。

〈回答〉（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）久慈東高校は、2大会連続で出場できない場合に廃部の検討を進める。最低部員数などの制限はない。

〈回答〉（久慈工業高等学校副校長 小岩篤郎）久慈工業高校は、人数の規定はない。活動状況をみて、生徒総会で検討の上、決定していく。

- ・（佐々木座長）各校の現状の規定は回答のあったとおりだが、実際には新設統合校の規定を決めて進めていくこととなる。

- ・提案のとおり承認。

#### （8）協議事項8 その他

なし

#### 5 その他（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）

- ・（後構成員）資料9ページのスクール・ポリシーの連携先（魅力化協働パートナー）に、久慈市教育委員会が入っていない。今まで協働パートナーとして協力してこなかったのかと反省している。今後は久慈市教育委員会として全面的に協力していきたい。

- ・（事務局 久慈東高校副校長 三浦幸哉）第4回の統合検討会議は令和6年2月1日（木）の14時を予定している。内容は、進捗状況の報告（校歌案、校章案、校訓案、制服案選定）、これまでの経過報告、今後の統合準備の計画である。後日、案内文書を送付する。

#### 6 閉会（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）